

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	27	日々の暮らしの中での本人の様子をきめ細かく観察しケアに活かしているが、専門職としてのかかわりの根拠や気づきが十分に記録されていないことがある。	介護・看護のそれぞれの専門性を活かしたケア記録により、「暮らし」「生きる」を支えるチームの連携と相互理解を深める。	①記録の意義について共通理解を図るために勉強会を行う ②互いの専門性を活かした記録様式の見直しに取り組む ③実際の記録を検討し、観察・分析・判断・実践の力を養う	6か月
2	33 37	折に触れ、重度化や終末期に向けた話し合いをしているが、さらに本人の意思を尊重した最期に向けて、本人の思いを最優先した支援のあり方を繰り返し話し合っていく必要がある。	「死ぬこと」をタブー視せず、人生の心づもり・これからの暮らし方・生き方について、自分事として共に考え、本人・家族等と日常的に話し合うことが出来る。	①話し合いのきっかけを工夫し、人生の心づもりについての思いを引き出し対話する ・絵本や写真、『もしばなカード』を活用する ・テーマを決めてグループセッションを行う ②本人の語りを大切に、それぞれの『人生の木』をまとめる ③それぞれの『人生の木』を用いて、ご家族の意向・今後の支援のあり方について話し合う	12か月
3					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。